

# 北区立浮間中学校 学校だより

令和6年1月24日

第9号(1月号)

文責

校長 奥村 宏

## ◆笑顔と学びの体験活動プロジェクト 1月12日(金) ⑤⑥校時

炭素回収技術研究機構(CRRA)の村木風海<sup>むらきかづみ</sup>さんに、「地球温暖化を防ぐには」というテーマでご講演いただきました。第一部では、地球温暖化の原因は、人間の生活で排出され続けている二酸化炭素によるものが多く、産業革命の地球平均気温から1.5℃~2.0℃上昇すると、地球温暖化は止まらなくなるというお話でした。シベリアの永久凍土が溶け出す温度に近づきつつあり、そこから排出されるメタンは、二酸化炭素の28倍の温室効果があるそうです。

第二部では、クイズや実験を行い、二酸化炭素の排出を減らす工夫や性質について学びました。二酸化炭素を充満させた水槽にシャボン玉を吹きかけると、空気より重い二酸化炭素の上でシャボン玉が泳いでいました。二酸化炭素を吸収する装置「ひやしー」には、特許がたくさんあり、通常は中身を公開していないとのことでした。

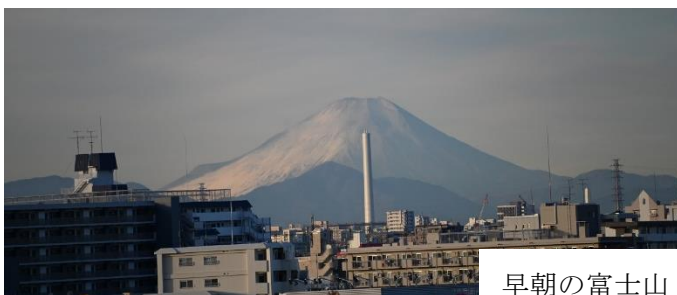
村木風海さんは、地球温暖化を止めて、火星に移住するのが夢だと語っています。私が、「火星には行けるとは思いますが、戻ってこられないですよ。」とお話ししたら、「火星にある二酸化炭素と水を原料にして、燃料を作れば戻ってこられます。」と自信をもって言うておられました。講演の記念に、学校に色紙をいただきました。



## ◆ダイヤモンド富士 1月12日(金) 16:35

浮間中学校からは、きれいな富士山を見ることができます。今の時期は、朝、空気が澄んでいると雪をかぶった富士山が練馬清掃工場の煙突越しに見えます。

毎年、ダイヤモンド富士の写真を撮影しています。夕方は曇りの年が多く、山頂に太陽が沈む写真は撮れませんでした。でも、今年は念願のダイヤモンド富士の撮影に成功しました。何枚も写真を撮りましたが、一番きれいに撮れたのは副校長先生でした。ちょっとだけ悔しかったです。



早朝の富士山



副校長の写真

## ◆生徒会朝礼 1月15日(月) 8:15 玄関

生徒会役員から、能登半島地震の募金についてのお知らせがありました。募金は、1/16(火)~20(土)の登校時に実施され、浮中生は、1日も早い復興を願って募金活動に協力していました。写真には写っていませんが、先生方専用の募金箱もしっかり用意されていました。



## ◆避難訓練 1月19日(金)

今回の避難訓練は、給食室から出火し、東階段が使用できないという想定で行われました。生徒全員が真剣な表情で校庭に避難していました。浮間子ども・ティーンズセンターと浮間図書館の利用者と職員も参加していただき、生徒と一緒に整列しました。550名の生徒が避難を開始してから安全が確認できるまで**4分16秒**かかりました。

ちなみに、明治生まれの私の祖母は関東大震災のことを昨日のことのように話していましたが、生きていれば100歳の父は、生後6ヶ月でしたので何も覚えていませんでした。ただ、父からは戦争の話が聞かされていました。祖母と父の話は、今でも想像をはるかに超える悲惨な出来事として私の心の中にあります。

大地震と航空機事故で始まった令和6年は、これからどのようなことが起きるのでしょうか。



## ◆数学科講師についてのお知らせ

昨年度から勤務していました、数学科講師の 田中 耕 先生は、昨年末からお休みをしていましたがご退職されました。後任に 1月25日(木)から 藤澤 晴美 先生が第1学年と第2学年の数学(基礎コース)を担当します。よろしくお願いします。

## ◆編集後悔

- ・令和6年能登半島地震では、多くの方が亡くなられて、被災された方々への支援もいまだに十分とは言えない状況です。浮間中学校生徒会、教職員も能登半島の復興に協力していきます。
- ・1月末に実施される2年EC岩井(1/26~28)の記事は、2月号のトップでお知らせします。